

水性2液変性エポキシ樹脂さび止め塗料

オーデハイポンプライマー

ホルムアルデヒド
 放散等級
 F☆☆☆☆

■概要

オーデハイポンプライマーは、変性エポキシ樹脂さび止め塗料の高防食性を保持したまま、さらに環境配慮や使いやすさを追及した、水性2液変性エポキシ樹脂さび止め塗料です。水性タイプですので、従来品よりも臭気が少なく、また消防法上の非危険物として取扱いが可能となり、安全性が高く環境に配慮した塗料です。水性上塗りとの組み合わせにてオール水性仕様となり、集合住宅等の鉄部の塗替えに最適です。

■特長

- ①水道水で希釈ができ、臭気が少なく環境に配慮した塗料です。
- ②消防法上の非危険物で、安全性が高い塗料です。
- ③JIS K5551 C種品と同等のさび止め効果を有します。
- ④乾燥が速く、作業性にすぐれています。
- ⑤鉛・クロムを一切配合していません。

■用途

建築物内部および外部の鉄面全般・旧塗膜面。

■塗装仕様例 (一般鉄部 塗り替え)

塗装工程	一般名称	製品名	使用量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
(補修塗り)	水性2液変性エポキシ樹脂さび止め塗料	オーデハイポンプライマー	0.16~0.18	(1)	4時間以上7日以内	水道水	5~10 0~5	はけ ウールローラー エアレスプレー
下塗り	水性2液変性エポキシ樹脂さび止め塗料	オーデハイポンプライマー	0.16~0.18	1	4時間以上7日以内	水道水	5~10 0~5	はけ ウールローラー エアレスプレー
上塗り	1液水性反応硬化形鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08~0.10	2	3時間以上	水道水	0~5	はけ ウールローラー

注:下塗り塗装後に浮きさびが出た場合は再度オーデハイポンプライマーを塗装してください。
 上記の数値はすべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

■各種素地・旧塗膜との付着性と適用上塗り塗料

●各種素地との付着性

素地	付着性	備考
鉄	○	鉄
ステンレス	○	SUS304 など
劣化溶融亜鉛めっき	○*	白さび除去必須
電気亜鉛めっき	○	ボンデライトなど
アルミニウム	○	A1050P など
アルマイト処理板	○	
アルマイトクレーヤー板	×	
ガルバリウム鋼板	○	
FRP板	○	
硬質塩ビ	×	

※6ヶ月以上暴露された面に使用してください。それでもキラキラしている箇所はペーパー研磨が必要です。
 注)上記以外の素地との付着性につきましては、最寄の営業所までお問合せください。

●旧塗膜との付着性

旧塗膜	付着性
合成樹脂調合ペイント / フタル酸樹脂エナメル	○*
エマルジョンペイント	○
水性ポリウレタン樹脂塗料	○
水性アクリルシリコン樹脂塗料	○
ポリウレタン樹脂塗料	○
アクリルシリコン樹脂塗料	○

※内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
 注)上記以外の旧膜との付着性につきましては、最寄の営業所までお問合せください。

●適用上塗り塗料

塗料系統	一般名称	製品名
水性系	1液水性反応硬化形鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi
	水性反応硬化形エマルジョン塗料	ニッペ水性ケンエース / ニッペ水性ケンエースグロス
	1液水性反応硬化形アクリル樹脂塗料	オーデグロス
	室内環境配慮形水性つや有り塗料	オーデコートGエコ
	手あか汚れ・皮脂軟化対策水性内部用塗料	オーデノータック
	1液水性反応硬化形ウレタン樹脂塗料	ニッペ水性ファインウレタンU100
	1液水性反応硬化形セラミック変性シリコン系塗料	ニッペ水性シリコンセラUV
	1液水性反応硬化形シリコン系塗料	オーデフレッシュSi100III
	1液水性反応硬化形フッ素樹脂塗料	オーデフレッシュF100III※1
	1液水性ラジカル制御形ハイブリッド高耐候性塗料	ニッペパーフェクトトップ
	超高耐候超低汚染水性2液形無機塗料	アブラウドシェラスターNEO※2
弱溶剤系	ターベン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料	ニッペ1液ファインウレタンU100
	ターベン可溶2液形ポリウレタン樹脂塗料	ニッペファインウレタンU100
	ターベン可溶2液形シリコン系塗料	ニッペファインSi
	超低汚染形ターベン可溶2液形アクリルシリコン樹脂塗料	ニッペファインシリコンフレッシュ

※1 上塗りにオーデフレッシュF100IIIを使用する場合は、下塗りの後に中塗りとしてオーデフレッシュ共通中塗を0.14~0.17kg/m²×1回塗装後、オーデフレッシュF100IIIを0.14~0.17kg/m²×1回塗りにて仕上げてください。
 ※2 上塗りにアブラウドシェラスターNEOを使用する場合は、下塗りの後に中塗りとして水性ハイポン30中塗を0.12~0.16kg/m²×1回塗装後、アブラウドシェラスターNEOを0.14~0.18kg/m²×2回塗りにて仕上げてください。
 注)金属パネル外壁に水性系上塗り塗料を適用する場合はパネル全面にエンボス等凹凸模様のあるサイディングに限ります。平滑(フラット)な面へ塗装した場合、塗り継ぎなどの仕上り不良に至る場合がありますので、ご注意ください。
 注)上塗りまで仕上げ後に補修塗装が必要な場合は、同上塗り塗料にて塗装を行ってください。
 注)上記以外の適用上塗り塗料につきましては、最寄の営業所までお問合せください。

オーデハイポンプライマー

■使用方法

下地調整: 塗り替え時の素地調整は発錆部、劣化部は第2種ケレンを、活膜部はサンドペーパー等で表面調整を行ってください。

調合: 2液形のため、「塗料液:硬化剤=5:1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。

ポットライフ: 6時間(23℃)

塗装方法:

塗装方法	はけ・ウールローラー	エアレススプレー
希釈率	5~10%	0~5%
使用量	0.16~0.18kg/m ² /回	0.16~0.18kg/m ² /回

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

エアレス条件: 一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-413、415など

乾燥時間:




	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥	4時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

■容姿

色	容量
赤さび色、グレー、ホワイト(白さび色)	15kgセット(塗料液:硬化剤=12.5kg:2.5kg) 3.6kgセット(塗料液:硬化剤=3.0kg:0.6kg)

■色相

色名	色相 ※色は印刷インクのため近似色です。
赤さび色(07-40P近似)	
グレー(N-75近似)	
ホワイト(白さび色)(N-95近似)	

■使用上のご注意 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。
- ごみ・ほこり・砂・油・樹脂などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
- 下地調整程度が悪い場合には、早期にさびを発生する可能性があります。
- 塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 可使時間は6時間(23℃)になります。この塗料は時間が経っても塗料粘度の上昇がほとんどなく、溶剤系塗料のように塗料粘度の上昇などから使用可否を判断することができません。可使時間の管理は時刻で行ってください。可使時間を過ぎた塗料は使用しないでください。可使時間を過ぎた塗料を使用しますと塗膜性能不良の原因になります。
- 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまわってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 汚れ、さびなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- 上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
- 開缶後は皮張りしがしやすいため、表面にうす希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 オーデハイポンプライマー ホワイト(白さび色)塗料液 横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
 - 使用前に取扱説明書を入手してください。
 - すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
 - 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
 - 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください
 - 口をすすいでください。
 - 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
 - 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
 - 眼の刺激が続く場合は: 医師の診断/手当てを受けてください。
 3. 施設して保管してください。
 14. 直射日光や水濡れは厳禁です。
 15. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
 16. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
 17. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
 18. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
 19. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警告



危険有害性情報

強い眼刺激/水生生物に有害/長期継続的影響によって水生生物に有害

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●このカタログは再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●オーデ/O-DE(登録第1334325号)、ハイボン/Hi-PON(登録第1756920号)は日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社の登録商標です。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2017 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

カタログNo.

NP-V037

AA170805T
2017年6月現在